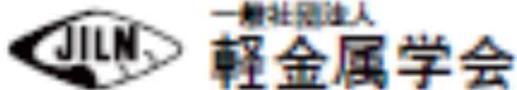


平成27年度 日本工学会 公開シンポジウム 「学協会の国際化」 ーグローバル化の現状と課題ー



一般社団法人 軽金属学会
理事・国際交流委員会委員長
日本大学生産工学部機械工学科
教授 PhD 久保田正広

軽金属学会とは？

目的：「アルミニウム・マグネシウム・チタンに関する学術・技術の進歩発展を図り、工業の発展に尽くす」

設立：1951年(昭和26年)に発足

会員数：約2,000人

具体的活動：

- (1) 研究会、学術講演会等の開催
- (2) 国内外における研究協力・連携の推進⇒研究開発と人材育成
- (3) 学会誌、学術図書等の刊行
- (4) 研究及び調査の実施
- (5) 研究の奨励及び研究業績の表彰
- (6) その他、本学会の目的を達成するために必要な事業

- ・日本アルミニウム協会/日本マグネシウム協会/日本チタン協会などと連携
- ・リサイクルや省エネルギー関連分野で指導的役割



「軽金属」の未来
ともに広げよう

軽金属の用途？

(輸送機械・建材・食品加工・家電)



エンジンフード外板
エンジンフード内板

トランクリッド外板
トランクリッド内板

ドア外板
ドア内板

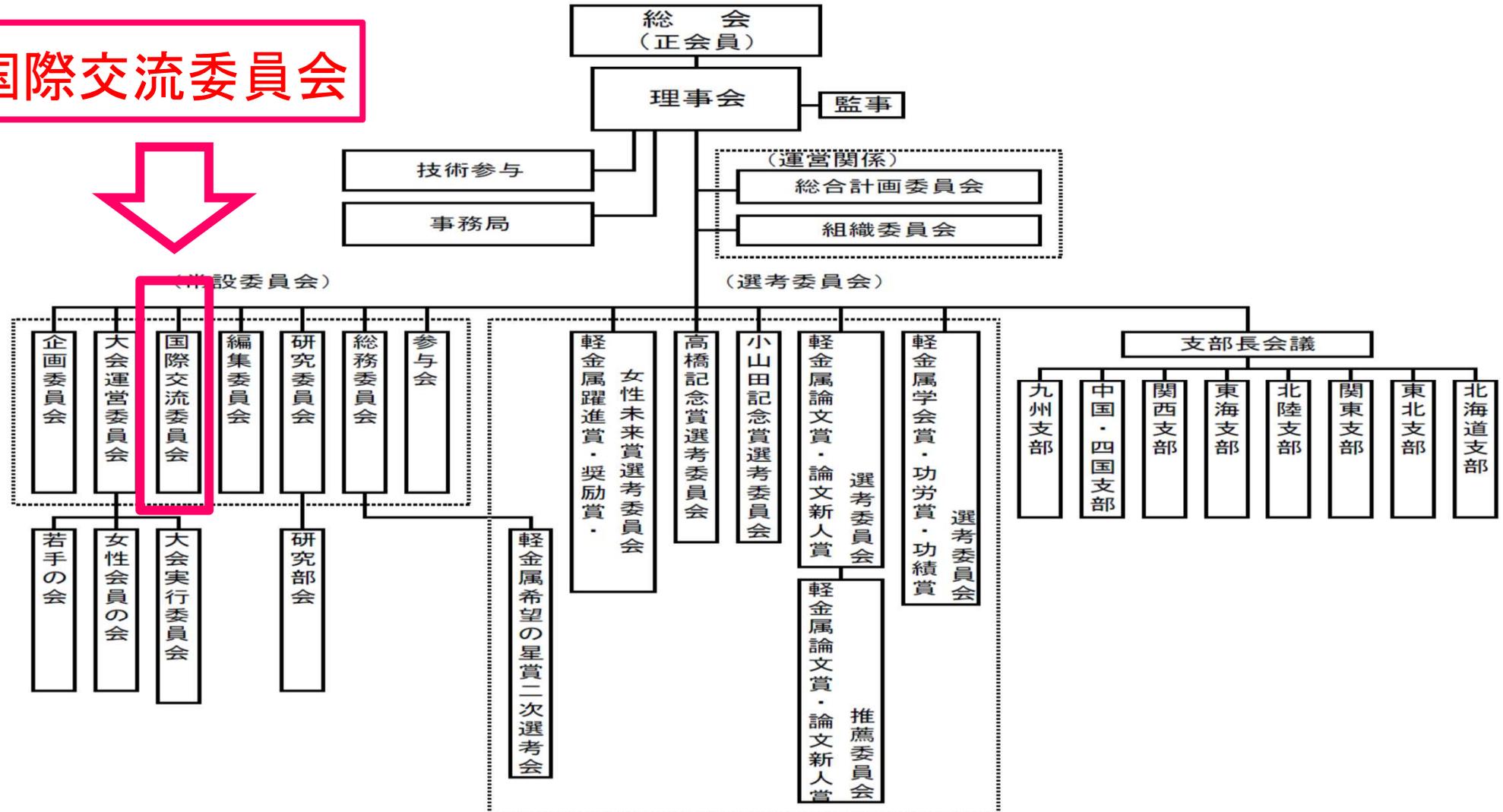


出典：日本アルミニウム協会、UACJ、日本軽金属など

軽金属学会の組織

「一般社団法人 軽金属学会」
(名誉会員, 永年会員, 正会員, 学生会員, 維持会員)

国際交流委員会



国際交流委員会

- 目的：軽金属に関する学術・技術の国際交流を促進
- 設立：1996年
- 任務：
 - (4) 国外の関連学協会との連携、情報交換
 - 国外の軽金属に関する文献の収集、国際会議の開催情報等の収集並びに会員への周知
 - 国内関連情報の海外関連学協会への提供
 - (1)(2) 国外の軽金属研究者、技術者のリストの作成並びに会員にとって有意義と思われる研究者、技術者の招聘、講演会開催

国際交流事業（1）

（ALMA：Asian Light Metals Association）

- 参加地域：日本、韓国、中国、台湾、オーストラリア
- 目的：アジア地域におけるアルミニウム、マグネシウム、チタンの学術と技術に関する情報交換
- 参加者：

The Asian Light Metals Association (ALMA), which was renamed from the International Communication Program (ICP) proposed by The Japan Institute of Light Metals (JILM) and established in 2006 for the purpose of promoting exchange of scientific and technical information among industry and academia of light metals in Asia.

国際交流事業 (1)

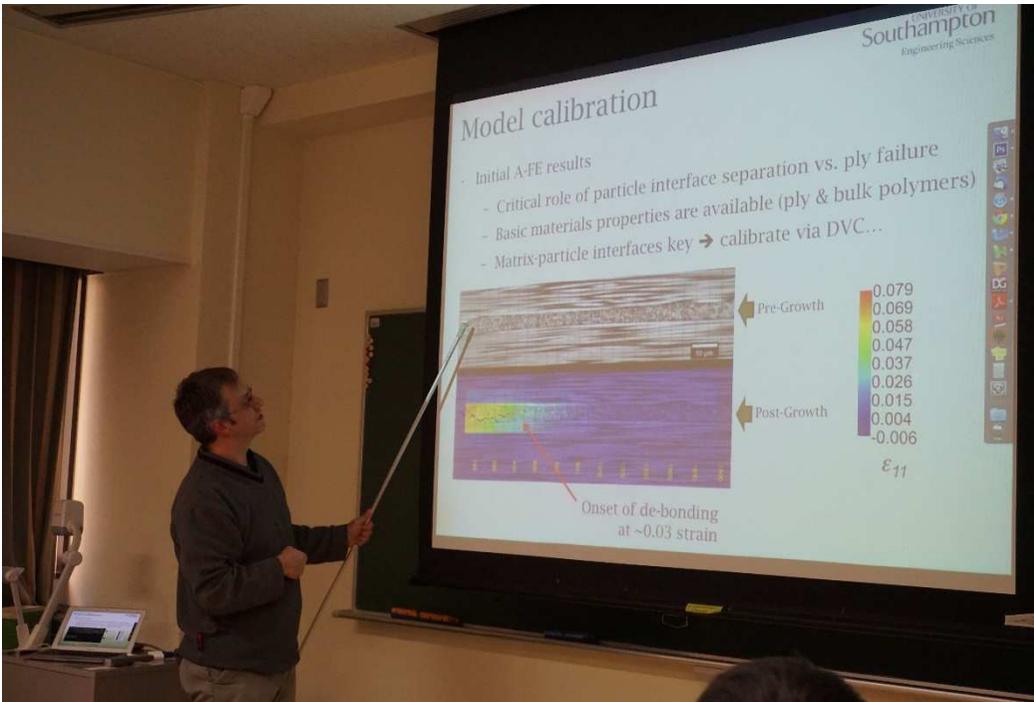
(ALMA Forum) 2014.11.14



国際交流事業 (2)

(軽金属国際ワークショップ)

The 10th Light Metals
International Workshop
2015.03.05



講演者 Ian Sinclair 教授
英国 Southampton 大学

国際交流事業 (3)

(ICAA 2010.9.5-9 横浜)



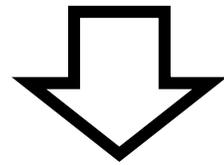
国際交流事業（４）

表敬訪問・会員企業見学（台湾軽金属協会）



まとめ

軽金属に関する学術・技術の国際交流を促進



- 大学⇒人材育成・国際共同研究の構築
企業⇒国際協調

今後：春秋期講演大会において
インターナショナルセッションの設立